

静かな空

連絡先 742-2602 山口県大島郡周防大島町油宇 福田忠邦 Tel+ Fax: 0820-75-1045

大島爆音日誌

2013年10月10日(木) 昼前から10-15分間隔で、北から南にむけて艦載機が爆音をたてて飛行した。午後1時からはずっと飛行間隔がみじかくなり、飛行コースも東南から北西へ、南から北へ、というコースも目立ってきた。高度は高いが、青空一杯に爆音が広がる。30分ぐらい、ほとんど音が途切れることもないぐらい、ずっとつづいて、どこかで爆音が行っているような状態のこともある。大島の上空はすでに戦時下にはいったようである。やっぱり今日も木曜日。爆音は4時ごろまで断続的につづき、4時半には4機編隊で飛行した。夜になっても、7時から9時まで何回か、空一杯の飛行音が、ガラス戸を閉め切った1階の居間まで響いた。日前住民

10月22日(火) 久しぶりに自宅にゆっくりした。昼12時ころから米軍機がわが家の真上を飛行する。周囲に障害物のない2階で聞く爆音はすさまじい。3-5分間隔で、もう5機とんでいった。多くは北から南に飛行し、通過したあとをバリバリという爆音がついていく。この部屋から黒い機影もみえた。どこを飛んでいるかわからない第6機目の飛行音の残響が山際のほうで遠く聞える。12時40分、北東から南西へ黒い大型機が飛行した。この音が終わらないうちに、次の飛行機が白い飛行雲を噴出しながら、同じ方向へ飛んだ。12時45分、家の真上のコースを飛行。頭上に屋根があるから機影はみえない。遠くを飛行する爆音も聞こえる。山のこだまかもしれない。51分、真上を飛行。53分また1機真上を飛行。59分また1機。1時4分北空を飛んだ。1時10分、東の山際から南西へ1機。ななめに聞こえてくる爆音は、真上を飛行する爆音より弱い。1時20分、場所は特定できないが、空一杯の爆音。 日前住民

2014年4月3日(木)

夜8時から9時25分まで、ひっきりなしに頭上を米軍機が飛んだ。計25回。平均3分30秒に1回飛行したことになる。まだ夜は寒いから、窓は閉め切りにしてあるが、1時間半、テレビは全然聞えず、家がびりびり響いた。他の人はどう思っただろうか。 三蒲住民

「呪われた木曜日」なので、日前地区では午後かなり頻繁に飛び、編隊飛行も再三みられたが、夜間はさほどでなかった。夜間飛行は、大島上空から岩国基地へ着陸するコース直下の三蒲地区に集中したのであろう。岩国市由宇町ではどうだったろうか。 日前住民

艦載機 59 機がくるまえに いまの騒音を測定しておこう 岩国は周辺住民への加害者

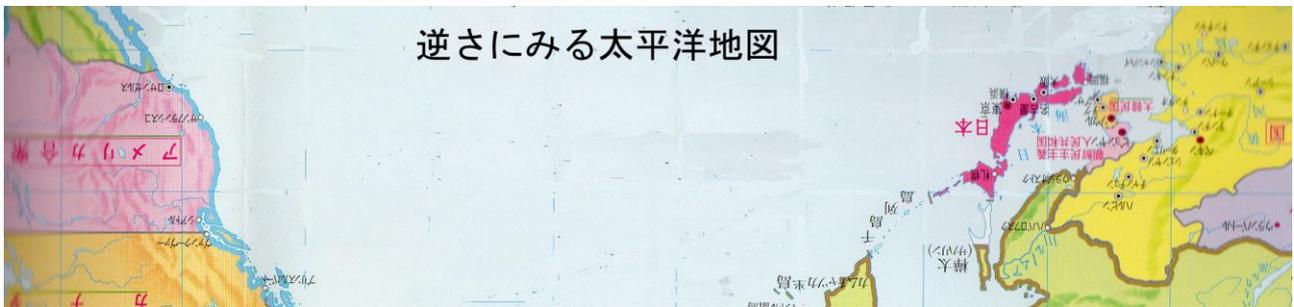
中国新聞編集委員 山本浩司

2月1日に開催された「瀬戸内ネット」総会シンポジウムで、中国新聞編集委員山本浩司さんが、岩国基地の諸問題について、数々の警告をされました。重要部分を抜粋してご紹介します。講演全文は http://www.geocities.jp/setouchi_net08 に掲載されています。

なぜ日本にアメリカ軍がいるのか

(日本地図を逆さにして見せながら) アメリカ軍はこの日本をどう見ているのでしょうか。ロシア、朝鮮半島、中国などの国々が、太平洋に出てこないようにする、防波堤ですよ。ウラジオストクに対する三沢基地、朝鮮半島にたいする岩国基地が、まさに恰好の位置に配置されていますよね。

中国、韓国の人、なんと日本は邪魔なんだろう、この国さえなければ、太平洋を自分たちのものにできるのに、邪魔な国だ、と思うでしょう。こんな



地図を見たら、彼らの思いの一端が感じ取れるような気がするのです。

岩国の直近の問題は、KC130の普天間からの移転。今年6月から9月まで、総数は15機となります。移転の名目は沖縄の負担軽減といわれて、岩国市長も沖縄の負担軽減のため、受け入れると言っています。しかし岩国への普天間基地の機能の移転が、本当に沖縄の負担軽減になるのかは疑問です。

KC130は空中給油機の機能と同時に、中に積んである燃料タンクをはずせば、ふつうの輸送機として使えます。輸送機としての機能を発揮するために欠かせないのは、敵のレーダーから身を隠すための、低空飛行です。

沖縄でできない低空飛行訓練を本土で

実はこの低空飛行は、沖縄ではできないのです。何度も普天間のKC130が岩国で目撃されました。私も目撃しました。なぜ彼らが岩国に来ていたかという、沖縄ではできない低空飛行をするためではないかと思えます。低空飛行訓練を考えると、普天間より岩国のほうが都合がいいのじゃないかと思えてくるのです。さらに空中給油には、燃料を渡したり受け取ったり訓練をせねばならない。移転後は、岩国の近辺で、同じ基地にいるジェット機と空

中給油機が、渡す側、受け取る側の訓練を頻繁にできるようになるわけです。実は米軍には都合のいいことではないかと思えるのです。

日本政府は、沖縄のオスプレイの訓練の半分を本土でやると言います。これも沖縄の負担軽減が名目です。これは訓練の分散ではなく、拡大と見ていいのじゃないでしょうか。

岩国が他地域への加害者になる

岩国の飛行機が他地域への負担を強いているのではないのでしょうか。例えば、実弾投下訓練などはこの近辺ではできませんから、沖縄へ行ってする。ということは岩国の飛行機が離着する騒音は、普天間にお住まいの人たちに影響している。岩国が他地域の負担になっているということです。

いま岩国が、沖縄の負担軽減という名目でいろいろ負担を分担していますが、今後 KC130 や空母艦載機が来ると、受け入れる岩国が他地域、例えばオレンジルートの下に住んでいらっしゃる方々の騒音の加害者になってしまうことを忘れてはならないと思います。つまり安易にいろいろなものを受け入れることによって、結果的に日本全土の広い範囲の人たちへの加害者になるということです。

各地の自治体が騒音測定器をつける

私は空母艦載機が移転してくると、騒音が必ず激しくなりますよ、騒音が激しくなったときに、こんなにうるさいのですよと言っても、国から「ではどれだけうるさくなったのか、証拠を出してくれ」と言われたときのために、自治体は今うちに、空母艦載機のいないときの騒音を測定しておきましょうと主張してきました。そして今、幾つかの自治体が、独自の騒音測定器をつけるようになりました。みなさんと自治体にメッセージを送ってきたことが、少しずつ実を結んでいることはうれしく感じています。

空中給油機の移転の問題ですが、空中給油機の輸送機としての任務を考えると、低空飛行が必ずついてきます。でもこれは岩国では行われません。東北か、オレンジルートか、ブラウンルートを使うことは間違いなく、その騒音はかなり激しいものであろうと考えられます。つまり、岩国の負担は少ないけれど、他地域の負担がかなり大きくなる、ということはみなさん、どこかに心の隅に置いておいてください。

次に、空母艦載機の移転です。これも厚木基地周辺の騒音の軽減が目的です。私が初めて大和市駅に着いたとたん、ものすごい騒音を耳にしました。岩国の比ではないです。何機も飛び立つのだらうと思ったら1機だけ飛び立つのです。なぜそんな大きな音がするかというと、まわりの山に反響するのです。これはたまらないなと思いました。さらに硫黄島の着艦訓練施設ができるまではNLPが厚木基地で行われていたということも忘れてはなりません。

艦載機移転しても厚木は静かにならない

2017年に厚木基地から岩国基地へ空母艦載機が移転すると、厚木基地は静かになるのかということ、実際は負担軽減にはならないと思います。岩国の近くにNLPの施設を作りますと日本政府が約束しました。だからアメリカ海軍は空母艦載機を厚木基地から岩国に移転することに同意したのです。

ところがNLPの恒久施設の建設のめどはたっていません。そうするとどうなるか。私が聞いている限り、在日アメリカ軍は硫黄島で訓練を実施するという約束をしてくれているということです。そうするとどういうことになるか。空母艦載機は、岩国から、厚木を経由して硫黄島に行きます。そして硫黄島でNLPを済ませて、夜遅くに厚木基地に帰ってくる。つまり厚木のみなさんが負担に感じていた騒音はそのまま残ることになります。空母艦載機は夜間の着艦訓練と、空母を海上に移動して着艦訓練をします。その着艦訓練は当然、昼と夜行われます。問題なのは夜の訓練です。

じゃ厚木基地から空母艦載機が岩国に移転したらどうするのか。空母を岩国の近く、例えば高知の沖にもってくるのでしょうか。政府が言っていた厚木周辺の負担軽減というのは、普段の離着陸分だけになる。それだけ負担軽減になるでしょうが、一番つらい思いをする訓練が残ってしまいます。

今のうちに地元に自前の騒音測定器を

岩国と岩国近辺にお住まいの方々、岩国に離着陸する飛行機の騒音にさらされています。これから普天間の沖縄の負担軽減という名目で、KC130の移転が終わった瞬間から騒音問題は、岩国だけの問題ではなくなるのです。このことはみなさん、心の片隅に置いておいてください。9月に空中給油機が移転するまでに、いまからひとつでも多くの騒音測定器がみなさんのお住まいのところにできることを願わずにはられません。

新聞記事としてはまだまだ書いていきますけれど、切実な住民の不安と、将来への備えとして、みなさん方が、静かな冷静な声で地元の自治体に騒音測定器設置の呼びかけを是非していただきたいと思います。実際の行動を起こせるのは、それぞれの地域にお住まいのみなさんだからです。

「大島の静かな空を守る会」は、2012年7月1日、椎木町長に町独自に「**デシベルで騒音を記録できる騒音測定器**」を設置することを求めましたが、「門前ばらい」でした。

*****:

岩国市 今年度予算

(中国新聞 2014.2.20)

米軍基地関係補助金・交付金 62億円

再編交付金：2021年度までに総額201億円の見込み

大島の静かな空を守る会 協力金(自由) 振込先 01380-1-88949 カワイヒロシ